

牟中だより 校訓「愛知・自治・敢為」 89名のみなと保護者の皆様へ

11月に入り少しずつ秋も深まり、周りの山々も紅葉しはじめました。今年のカレンダーも、残り2枚、時間のたつ早さを感じているところです。

11月は、「霜月（しもつき）」といわれています。だんだん寒くなり、霜が降りてくることから「霜降月（しもふりつき）」と呼ばれるようになり、それが縮まって、今の「霜月」になったといわれています。7日には「立冬（りっとう）」と記されていて、冬がやってきます。風邪を引かないよう気をつけ、笑顔で毎日元気に登校して欲しいと思います。10月も色々な行事や大会があり、牟岐中学校のみなさんの頑張りをみることができました。11月8日には郡人権教育研究大会を牟岐中学校で行います。各学年「災害時における人権」というテーマで授業を行います。中学校は参観日を兼ねていますので、保護者の方々にも是非子どもたちの授業の様子を見ていただきたいと思います。そしてそれをきっかけに、ご家庭に持ち帰り、災害時の備えや人権問題について話していただければと思います。

10月31日の朝会の話

たくさん行事を通じて、集団の中の自分、級友とのかかわり、命の大切さなどについて考える機会がたくさんあったと思います。

今日は、武田鉄矢が演じた金八先生のモデルとなった坂本光男さんの詩を紹介します。

ねえ、きみ、お母さんを知ってるかい
君が産まれたとき、病んだとき、
眠らずにずっとそばにいて
心を痛めていたのがお母さんだ

ねえ、きみ、お父さんを知ってるかい
夜中にどんなに遅く帰っても
君の寝顔をそっと見て
黙って床につくのがお父さんだ

ねえ、きみ、友達を知ってるかい
平気でいつも楽しそうだけれど
誰もがひとつ以上の悩みを抱え
こらえながらがんばっているのが友達だ

ねえ、きみ、自分を知ってるかい
たとえ勉強やスポーツが苦手でも
必ず二つ、三つは自慢できるものがある
それに気づいてないのが自分なんだ

ねえ、きみ、生きるって知ってるかい
きみの中にある、その自慢できるものを
どれでもいいから輝かせてごらん
それがきみにとっての生きることなんだ

ねえ、きみ、生命って知ってるかい
きみがもし死んだら、親も友達も泣く
かけがえのないタカラモノだから
生きられるだけ生きてこそ生命なんだ

ねえ、きみ、未来って知ってるかい
どうなるかわからないこれからを
きみの知恵と力できりひらく
その わくわくする冒険が 未来なんだよ

父母・祖父母・兄弟姉妹等の家族「友達」「自分」「命」そして「未来」は、自分づくり（自分探し）には欠かせないキーワードだと思います。進路を考える3年生はもちろん、1・2年生も自分探し・仲間づくりに小さな夢を育てたいと思います。そして何事にもわくわく感をもって取り組んでください。

郡中駅伝競走大会
頑張りました

10月27日
日和佐コースにて

郡中音楽祭
練習の成果を発揮

10月18日
由岐中学校にて



祝 男子Aチーム優勝 女子第3位

すばらしい合唱・合奏・三味線・踊りを披露しました

お願い 11月5日(土)8:00からPTA奉仕作業を行います。ご協力をお願いします